

1.	④	11.	③	21.	①	31.	③	41.	④
2.	④	12.	②	22.	③	32.	③	42.	①
3.	④	13.	②	23.	④	33.	④	43.	①
4.	④	14.	②	24.	③	34.	③	44.	④
5.	④	15.	①	25.	①	35.	①	45.	④
6.	②	16.	③	26.	①	36.	④	46.	③
7.	④	17.	①	27.	④	37.	②	47.	④
8.	③	18.	④	28.	①	38.	②	48.	③
9.	④	19.	④	29.	③	39.	②	49.	①
10.	②	20.	②	30.	④	40.	②	50.	①

1.

解答 ④

【解説】

英単語「requirement」は、「必要条件、要求されるもの」という意味の名詞です。何かを達成したり、資格を得たりするために必要とされる事柄や資格を指します。複数形の **requirements** で使われることが多いです。例えば、「入学条件」は **admission requirements** と表現します。選択肢①「退職」は **retirement**、②「返済」は **repayment**、③「代替品」は **replacement** です。

◆補足：requirement は、動詞 **require**（～を要求する、必要とする）に、名詞を作る接尾辞 **-ment** が付いた形です。**meet the requirements**（必要条件を満たす）という表現は、入学試験や求人応募などの文脈で頻出します。

2.

解答 ④

【解説】

「A に B を思い出させる」という意味に最も近い英語表現は④の **remind A of B** です。何かを見たり聞いたりすることで、A（人）が過去の B（人・物・事柄）を思い出すきっかけとなることを示します。例えば、「この歌は私に高校時代を思い出させる」は **This song reminds me of my high school days.** と表現します。他の選択肢について、① **inform A of B** は「A に B を知らせる」、② **accuse A of B** は「A を B のことで非難する」、③ **rob A of B** は「A から B を奪う」という意味です。

◆補足：**remind** は、人が自発的に「思い出す（remember）」のではなく、何か（主語）が人に「思い出させる」という使役的な意味を持つのがポイントです。また、**remind A to do**（A に～するのを忘れないよう言う）の形も頻出です。名詞形は **reminder**（思い出させるもの、催促状）です。

3.

解答 ④

【解説】

英単語「statement」は、「声明、陳述」や「(銀行などの)明細書」という意味の名詞です。公式な意見や情報を述べたものや、取引記録などをまとめた書類を指します。例えば、「公式声明を発表する」は **issue an official statement** と表現します。選択肢①「彫像」は **statue**、②「地位」は **status**、③「州、国家、状態」は **state** です。

◆**補足**：statement は、動詞 **state** (～を(公式に)述べる)に、名詞を作る接尾辞 **-ment** が付いた形です。**a bank statement** (銀行取引明細書) や **a credit card statement** (クレジットカードの利用明細書) のように、金融の文脈でも頻出します。

4.

解答 ④

【解説】

「～を(公式に)発表する」という意味に最も近い英単語は④の **announce** です。多くの人に向けて、計画や決定、ニュースなどの情報を公に知らせることを指します。例えば、「政府は新しい政策を発表した」のように使います。他の選択肢について、① **answer** は「～に答える」、② **analyze** は「～を分析する」、③ **arrange** は「～を手配する、整える」という意味です。

◆**補足**：announce は、ラテン語の **ad-** (～へ) + **nuntiare** (告げる) が語源です。「～へ向かって告げる」というイメージが「発表する」という意味につながっています。名詞形は **announcement** (発表)、人物を指す名詞は **announcer** (アナウンサー) です。

5.

解答 ④

【解説】

英語表現「**as a result**」は、「結果として」という意味の接続副詞的な表現です。前の文で述べた事柄が原因となり、ある結果が生じたことを示す際に使われます。例えば、「彼は熱心に勉強した。その結果、試験に合格した」のように使います。選択肢①「一般的に」は **as a rule**、②「全体として」は **as a whole**、③「例えば」は **for example** や **as an example** です。

◆**補足**：as a result は、文頭に置いてコンマを伴うか、文中に挿入する形で使われます。**as a result of** ～ の形で「～の結果として」という前置詞句になることも多いです。類義語に **consequently** や **therefore** がありますが、as a result は因果関係をより直接的に示す表現です。

6.

解答 ②

【解説】

「～に指示する、教える」という意味に最も近い英単語は②の **instruct** です。公式に、あるいは体系的に何かを行うよう命じたり、知識や技術を教えたりすることを指します。例えば、「従業員に安全手順を指示する」のように使います。他の選択肢について、① **interrupt** は「～を中断させる」、③ **introduce** は「～を紹介する」、④ **inspect** は「～を検査する」という意味の動詞です。

◆**補足**：**instruct** は、単に **tell**（言う）や **teach**（教える）よりもフォーマルな言葉です。名詞形は **instruction**（指示、使用説明書）と **instructor**（指導者、インストラクター）があり、どちらも重要単語です。

7.

解答 ④

【解説】

「～を実演する、証明する」という意味に最も近い英単語は④の **demonstrate** です。実際にやって見せることで使い方を説明したり、証拠を挙げて何かが真実であることを示したりすることを指します。例えば、「新製品の機能を実演する」のように使います。他の選択肢について、① **decorate** は「～を飾る」、② **hesitate** は「ためらう」、③ **estimate** は「～を見積もる」という意味です。

◆**補足**：**demonstrate** は、デモ行進をする、つまり「示威運動をする」という意味でも使われます。名詞形は **demonstration** で、「実演、証明、デモ」といった意味を持ちます。

8.

解答 ③

【解説】

英単語「**cost-effective**」は、「費用対効果の高い」という意味の形容詞です。費やした費用（**cost**）に見合う、あるいはそれ以上の良い結果（**effect**）が得られることを表します。例えば、「この新しいシステムは費用対効果が高い」のように使います。選択肢①「費用のかかる」は **costly**、②「無料の」は **free of charge**、④「時代遅れの」は **old-fashioned** です。

◆**補足**：**cost-effective** は、単に「安い」という意味ではない点に注意が必要です。高価なものであっても、それがもたらす利益や利点が大きければ、**cost-effective** と言えます。ビジネスや政策の評価などでよく使われる重要な語彙です。

9.

解答 ④

【解説】

英単語「regret」は、「～を後悔する」という意味の動詞です。過去に行ったことや、しなかったことに対して、残念に思ったり悲しく感じたりすることを表します。名詞としても「後悔、遺憾」という意味で使われます。選択肢①「～を拒否する」は reject、②「～を思い出す」は recall や remember、③「～を尊敬する」は respect です。

◆補足：regret の後ろに動名詞 (-ing) が来ると「～したことを後悔する」、to 不定詞が来ると「残念ながら～しなければならない」という、全く異なる意味になる点に注意が必要です。I regret to inform you that ... (残念ながら…ということをお知らせします) は、ビジネスメールなどで使われる定型表現です。

10.

解答 ②

【解説】

英語表現「come out」は、「(本や CD、映画などが) 発売される、公開される」という意味です。新しい製品が市場に出て、人々が手に入れられるようになる状況を表します。例えば、「彼の新しいアルバムは来月発売される」は His new album will come out next month. と表現します。選択肢①「(アイデアなど) を思いつく」は come up with ～、③「(病気) にかかる」は come down with ～、④「偶然会う」は come across ～ が対応します。

◆補足：come out は多義的な句動詞で、文脈によって「(太陽などが) 現れる」「(秘密などが) 明らかになる」「(写真が) 写る」など、様々な意味を持ちます。

11.

解答 ③

【解説】

「高齢化」という意味に最も近い英単語は③の aging です。年をとる過程や、社会全体で高齢者の割合が増加していく現象を指す名詞です。例えば、「日本の高齢化」は the aging of Japan と表現します。他の選択肢について、① agency は「代理店」、② anger は「怒り」、④ agenda は「議題、協議事項」を意味します。

◆補足：aging は、動詞 age (年をとる) の動名詞・現在分詞形です。an aging society (高齢化社会) のように、形容詞として使われることも非常に多いです。現代社会が直面する重要な課題の一つとして、ニュースや評論で頻出する単語です。

12.

解答 ②

【解説】

英単語「cheerful」は、「陽気な、快活な」という意味の形容詞です。幸せで前向きな様子や、人を楽しい気分にする様子を表します。例えば、「陽気な性格」は a cheerful personality、「明るい色の部屋」は a cheerful room と表現します。選択肢①「注意深い」は careful、③「化学の」は chemical、④「安い」は cheap です。

◆補足：cheerful は、名詞 cheer（元気、歓声）に、性質を表す接尾辞 -ful が付いた形です。副詞形は cheerfully（陽気に）です。類義語の happy は一般的な幸福感を表すのに対し、cheerful はその気持ちが外に現れている、明るい様子を強調します。

13.

解答 ②

【解説】

英単語「misunderstanding」は、「誤解」という意味の名詞です。誰かの言ったことや、ある状況を正しく理解できないことから生じる、認識のずれを指します。例えば、「それは単純な誤解だった」は It was a simple misunderstanding. と表現します。選択肢①「不運」は misfortune、③「いたずら」は mischief、④「不幸」は misery です。

◆補足：misunderstanding は、否定的な意味を持つ接頭辞 mis- と、名詞 understanding（理解）が組み合わさってできています。「間違った理解」というのがこの単語の核となるイメージです。動詞形は misunderstand（～を誤解する）です。

14.

解答 ②

【解説】

「～に感心する、～を称賛する」という意味に最も近い英単語は②の admire です。人やその行動、作品などを尊敬し、素晴らしいと思う気持ちを表します。例えば、「私は彼の勇気に感心した」のように使います。他の選択肢について、① admit は「～を（事実だと）認める」、③ adopt は「～を採用する、～を養子にする」、④ adapt は「～を適合させる」という意味です。

◆補足：admire の語源は、ラテン語の ad-（～に）+ mirari（驚く）で、「～を見て驚嘆する」というのが核となるイメージです。名詞形は admiration（感心、称賛）、形容詞形は admirable（称賛に値する）です。

15.

解答 ①

【解説】

「記録、最高記録」という意味に最も近い英単語は①の record です。スポーツなどにおける最高の成績や、後々のために書き残された情報を指します。例えば、「世界記録を破る」は break a world

record と表現します。他の選択肢について、② reward は「報酬」、③ report は「報告」、④ regard は「配慮、尊敬」という意味の名詞です。

◆補足：record は、名詞として使われる場合は /ˈrekɔːrd/（レコード）のように前にアクセントが置かれ、動詞として「～を記録する」という意味で使われる場合は /rɪˈkɔːrd/（リコード）のように後ろにアクセントが置かれます。この発音の違いも重要です。また、「レコード盤」という意味もあります。

16.

解答 ③

【解説】

英単語「investment」は、「投資」という意味の名詞です。利益を得る目的で、お金や時間、労力などをつぎ込むこと、またはそのつぎ込まれたものを指します。例えば、「不動産への投資」は an investment in real estate と表現します。選択肢①「発明」は invention、②「招待」は invitation、④「環境」は environment です。

◆補足：investment は、動詞 invest（～を投資する）の名詞形です。接尾辞の -ment は動詞に付いて名詞を作ることが多いです（例：develop → development）。金融の文脈だけでなく、「教育は未来への最良の投資だ」のように、比喩的にも広く使われます。

17.

解答 ①

【解説】

英単語「presentation」は、「発表、プレゼンテーション」という意味の名詞です。人々の前で、特定のテーマについて情報や考えを話したり見せたりすることを指します。例えば、「プレゼンテーションを行う」は give a presentation と表現します。選択肢②「現在」は名詞の present、③「保護」は preservation、④「圧力」は pressure です。

◆補足：presentation の動詞形は present で、/priˈzent/（プレゼント）と後ろにアクセントが置かれ、「～を発表する、贈る」といった意味になります。名詞の present /ˈpreznt/（プレゼント）とはアクセントの位置が異なる点に注意が必要です。

18.

解答 ④

【解説】

英単語「critical」は、「批判的な」と「重大な」という二つの主要な意味を持つ形容詞です。①人や物の欠点を指摘する「批判的な」態度（a critical comment）、②状況の将来を左右するほど「極めて

重要な」局面 (a critical moment) の両方を表します。選択肢①「創造的な」は creative、②「犯罪の」は criminal、③「好奇心の強い」は curious です。

◆補足：critical は、他にも「(病状が) 危篤の」という意味でも使われます (a critical condition)。文脈に応じてどの意味で使われているかを判断することが重要です。名詞形は critic (批評家) や criticism (批判)、動詞形は criticize (～を批判する) です。

19.

解答 ④

【解説】

「燃料」という意味に最も近い英単語は④の fuel です。熱や動力を生み出すために燃やされる物質全般を指します。ガソリン、石炭、木材などが含まれます。例えば、「燃料価格」は fuel prices と表現します。他の選択肢について、① food は「食べ物」、② fool は「愚か者」、③ flood は「洪水」という意味で、発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：fuel は動詞としても使われ、「～に燃料を補給する」や、比喩的に「(感情や議論など) を煽る、助長する」といった意味になります。例えば、fuel speculation (憶測を助長する) のように使われます。

20.

解答 ②

【解説】

「(計画・考え) を明確にまとめる」という意味に最も近い英単語は②の formulate です。計画や理論、意見などを、細部に注意を払いながら注意深く作り上げることを指します。例えば、「戦略をまとめる」は formulate a strategy と表現します。他の選択肢について、① calculate は「～を計算する」、③ circulate は「循環する、～を循環させる」、④ demonstrate は「～を実演する、証明する」という意味の動詞です。

◆補足：formulate は、名詞 formula (方式、製法、決まり文句) から派生した動詞です。単に「考える」のではなく、体系的・論理的に「公式化する」というニュアンスが含まれており、計画や政策、理論といった言葉と共によく使われます。

21.

解答 ①

【解説】

「～を延期する」という意味に最も近い英単語は①の postpone です。予定されていた行事を、元の日時よりも後にすることを指します。例えば、「会議は来週まで延期された」は The meeting was postponed until next week. と表現します。他の選択肢について、② cancel は「～を中止する」で、

延期ではなく取りやめることを意味します。③ **prepare** は「～を準備する」、④ **decline** は「～を断る」という意味です。

◆**補足**：**postpone** の類義語に **put off** があり、**postpone** よりも口語的です。語源はラテン語の **post-**（後に）+ **ponere**（置く）で、「後に置く」というイメージが「延期する」という意味につながっています。

22.

解答 ③

【解説】

「反応、反発」という意味に最も近い英単語は③の **reaction** です。ある出来事や刺激に対しての、言葉や行動、感情、あるいは身体的な応答を指します。例えば、「彼のそのニュースに対する反応は驚きだった」のように使います。他の選択肢について、① **relation** は「関係」、② **recital** は「独奏会、リサイタル」、④ **reality** は「現実」を意味します。

◆**補足**：**reaction** は、動詞 **react**（反応する）の名詞形です。**reaction to ～** の形で「～に対する反応」と表現することが多いです。化学の文脈では「化学反応（a chemical reaction）」を意味するなど、科学的な用語としても使われます。

23.

解答 ④

【解説】

「（思想・感情など）を伝える」という意味に最も近い英単語は④の **convey** です。言葉や表情などを通じて、情報や気持ちを相手に理解させることを指します。例えば、「謝罪の意を伝える」は **convey one's apologies** と表現します。他の選択肢について、① **convert** は「～を転換する」、② **convince** は「～を確信させる」、③ **condemn** は「～を非難する」という意味の動詞です。

◆**補足**：**convey** は、「～を運ぶ、輸送する」という物理的な意味でも使われます（例：**a conveyor belt** コンベヤーベルト）。語源はラテン語の **con-**（共に）+ **via**（道）で、「共に道を行く」→「運ぶ」→「伝える」と意味が発展しました。単に **tell**（言う）や **say**（言う）と述べるよりも、意味や感情が相手にしっかり届くニュアンスが含まれます。

24.

解答 ③

【解説】

英単語「**receipt**」は、「領収書、レシート」という意味の名詞です。商品やサービスの代金を支払ったことの証明となる紙片を指します。例えば、「領収書をもらえますか」は **Can I have a receipt, please?**

と表現します。選択肢①「処方箋」や②「レシピ」は **recipe** で、スペルと意味を混同しやすいので注意が必要です。④「受付」は **reception** です。

◆補足：receipt /rɪ'si:t/ の発音では、p が発音されない黙字である点が非常に重要です。動詞 **receive**（～を受け取る）の名詞形であり、「お金を受け取ったことの証明」と考えると覚えやすいでしょう。

25.

解答 ①

【解説】

英単語「**unnecessary**」は、「不必要な」という意味の形容詞です。必要がない、または必要以上であることを示します。例えば、「不必要な出費」は **an unnecessary expense** と表現します。選択肢②「不親切な」は **unkind**、③「不公平な」は **unfair**、④「不安定な」は **unstable** です。これらは全て否定の接頭辞 **un-** が付く形容詞なので、混同しないようにしましょう。

◆補足：**unnecessary** は、否定の接頭辞 **un-** と、形容詞 **necessary**（必要な）が組み合わさってできています。このように、単語の成り立ちを分解して理解することは、語彙を効率的に増やす上で非常に有効です。副詞形は **unnecessarily**（不必要に）です。

26.

解答 ①

【解説】

「～に（…を）通知する」という意味に最も近い英単語は①の **notify** です。特に公式な事柄や重要な情報を、相手に正式に知らせることを指します。**notify A of B** や **notify A that ...** の形で使われます。他の選択肢について、② **notice** は「～に気づく」、③ **note** は「～に注意する、～を書き留める」、④ **nullify** は「～を無効にする」という意味です。

◆補足：**notify** は、**tell** や **inform** よりもフォーマルな言葉です。名詞形は **notification**（通知、届け出）で、スマートフォンの「通知」など、日常生活でも使われるようになっています。語源はラテン語の **notus**（知られた）と **facere**（作る）で、「知らせるように作る」というイメージが核となっています。

27.

解答 ④

【解説】

「きっと～する、～する運命にある」という意味に最も近い英語表現は④の **be bound to do** です。何かが起こることが確実である、という強い確信や必然性を表します。例えば、「彼はきっと成功する」は **He is bound to succeed.** と表現します。他の選択肢について、① **be about to do** は「まさに～しよ

うとしている」、② **be likely to do** は「～しそうである」、③ **be supposed to do** は「～することになっている」という意味です。

◆補足：**bound** は、動詞 **bind**（縛る）の過去分詞形に由来し、「(運命に) 縛られている」というイメージが核となっています。そのため、**be likely to do** よりも確信度が高い表現です。

28.

解答 ①

【解説】

「～を促進する、昇進させる」という意味に最も近い英単語は①の **promote** です。販売を「促進」したり、人をより高い地位に「昇進」させたり、物事の発展を「奨励」したりと、文脈に応じて様々な意味で使われます。他の選択肢について、② **promise** は「～を約束する」、③ **propose** は「～を提案する」、④ **protect** は「～を守る」という意味です。

◆補足：**promote** の語源は、ラテン語の **pro-**（前へ）と **movere**（動かす）で、「前へ動かす」というのが中心的なイメージです。このイメージが、販売促進、昇進、発展の奨励といった、様々な「前進」させる行為につながっています。名詞形は **promotion** です。

29.

解答 ③

【解説】

英単語「**accommodation**」は、「宿泊施設」という意味の名詞です。旅行者が滞在するためのホテルやアパート、その他の場所を指します。通常、不可算名詞として扱われます。例えば、「宿泊施設を予約する」は **book accommodation** と表現します。選択肢①「推薦」は **recommendation**、②「集中」は **concentration**、④「蓄積」は **accumulation** です。

◆補足：**accommodation** は、動詞 **accommodate**（～を収容する、～を適応させる）の名詞形です。アメリカ英語では不可算名詞ですが、イギリス英語では複数形の **accommodations** が使われることもあります。「便宜、便宜の供与」といった意味も持ちます。

30.

解答 ④

【解説】

英単語「**trust**」は、名詞として「信頼、信用」という意味です。人や物事の誠実さや能力を信じ、頼りにできるという気持ちを表します。例えば、「彼らの間には強い信頼関係がある」のように使います。動詞としても「～を信頼する」という意味で使われます。選択肢①「味」は **taste**、②「課題」は **task**、③「ほこり」は **dust** です。

◆補足：trust は、類義語の confidence（自信、信頼）や faith（信念、信仰）と比べて、特に相手の誠実さや人柄に対する信頼を指すニュアンスが強いです。形容詞形は trustworthy（信頼できる）です。put one's trust in ～（～を信頼する）という表現も重要です。

31.

解答 ③

【解説】

英単語「unwanted」は、「望まれていない、不要な」という意味の形容詞です。欲しくない、あるいは必要とされていないことを表します。例えば、「望まれない客」は an unwanted guest、「不要な電子メール」は unwanted e-mails と表現します。選択肢①「不慣れな」は unfamiliar、②「不安定な」は unstable、④「不公平な」は unfair です。

◆補足：unwanted は、否定の接頭辞 un- と、動詞 want の過去分詞形 wanted（望まれた）が組み合わさってできています。このように、un- は多くの形容詞や過去分詞の前に付いて、反対の意味を作り出します。

32.

解答 ③

【解説】

「～に（必要な物を）備え付ける」という意味に最も近い英単語は③の equip です。人や場所に、特定の目的のために必要となる道具や装置、知識などを提供することを指します。be equipped with ～の形で「～が備わっている」と受け身で使われることが非常に多いです。他の選択肢について、① escape は「逃げる」、② enquire は「尋ねる」、④ esteem は「～を尊敬する」という意味です。

◆補足：equip の名詞形は equipment で、「設備、機材、備品」を意味します。注意点として、equipment は不可算名詞なので、複数形にはなりません。たくさんの備品を指す場合でも、some equipment や a piece of equipment のように表現します。

33.

解答 ④

【解説】

「年配の」という意味に最も近い英単語は④の elderly です。old よりも丁寧で、敬意のこもった表現として使われる形容詞です。例えば、「年配の女性」は an elderly woman と表現します。他の選択肢について、① early は「早い」、② empty は「空の」、③ eager は「熱望して」という意味の形容詞です。

◆補足：elderly は、形容詞としてだけでなく、the elderly の形で「お年寄り（の人々）」という複数扱いの名詞としても使われます。これは、the + 形容詞で「～な人々」を表す用法の一つです（例：the rich, the poor）。

34.

解答 ③

【解説】

「～を配達する」という意味に最も近い英単語は③の deliver です。手紙や小包などを、宛先に届けることを指します。例えば、「ピザを配達する」は deliver a pizza と表現します。他の選択肢について、① deceive は「～をだます」、② decline は「～を断る、衰退する」、④ delay は「～を遅らせる」という意味です。

◆補足：deliver は、「(演説・講義など) をする」(deliver a speech) や、「(赤ちゃん) を出産する」(deliver a baby) など、文脈によって様々な意味を持つ多義語です。名詞形は delivery (配達) です。

35.

解答 ①

【解説】

「～を保証する」という意味に最も近い英単語は①の guarantee です。何かが確実であることを約束したり、製品の品質などを請け合ったりすることを指します。例えば、「この製品は1年間の品質を保証します」のように使います。他の選択肢について、② generate は「～を生み出す」、③ govern は「～を統治する」、④ graduate は「卒業する」という意味です。

◆補足：guarantee は名詞としても使われ、「保証、保証書」を意味します。動詞の promise よりも、より公式で責任の伴う「約束」というニュアンスが強いです。

36.

解答 ④

【解説】

「ソーシャルメディア」という意味に最も近い英語表現は④の social media です。ユーザーが情報を創造・共有したり、社会的なネットワークを構築したりすることを可能にする、ウェブサイトやアプリケーションを指します。他の選択肢について、① mass media はテレビや新聞などの「マスメディア」、② civil society は「市民社会」、③ public relations は「広報（活動）」を意味します。

◆補足：social media は、不特定多数に一方的に情報を流すマスメディアとは対照的に、個人間の双方向のコミュニケーションを特徴とします。具体例としては、Facebook, X (旧 Twitter), Instagram などが挙げられます。

37.

解答 ②

【解説】

英語表現「in other words」は、「言い換えれば、つまり」という意味です。前に述べたことを、より分かりやすい言葉や別の表現で説明し直す際に使われる接続副詞的な表現です。文頭に置いてコンマを伴うのが一般的です。選択肢①「一方で」は **on the other hand**、③「偶然に」は **by chance**、④「結局は」は **in the end** や **eventually** などが対応します。

◆**補足**：この表現は、複雑な事柄を簡潔にしたり、自分の意図を明確にしたりするために非常に便利です。類義表現として、**to put it another way** や **that is to say (i.e.)** などがあります。

38.

解答 ②

【解説】

英単語「**profit**」は、「利益、儲け」という意味の名詞です。特に、事業活動において、総収益から費用を差し引いた後の金銭的な儲けを指します。例えば、「利益を上げる」は **make a profit** と表現します。選択肢①「預言者」は **prophet** で、**profit** と同音異義語なので注意が必要です。③「提案」は **proposal**、④「見通し」は **prospect** です。

◆**補足**：**profit** は動詞としても使われ、「利益を得る」という意味になります。形容詞形は **profitable**（利益の上がる）です。一般的な「恩恵」を指す **benefit** とは異なり、**profit** は金銭的な利益に焦点が当てられます。

39.

解答 ②

【解説】

「(データを) アップロードする」という意味に最も近い英単語は②の **upload** です。個人のコンピュータから、インターネット上のサーバーなどのより大きなシステムへデータやファイルを転送することを指します。例えば、「写真を SNS にアップロードする」のように使います。他の選択肢について、① **update** は「～を更新する」、③ **upgrade** は「～をアップグレードする」、④ **uphold** は「(法律・決定など)を支持する」という意味です。

◆**補足**：**upload** は、**up**（上へ）と **load**（積む）が組み合わさった言葉です。対義語は **download** で、サーバーから自分のコンピュータへデータを「下へ降ろす」イメージです。どちらも現代の IT 社会における基本的な動詞です。

40.

解答 ②

【解説】

英単語「online」は、「オンラインで、インターネットで」という意味の副詞または形容詞です。コンピュータネットワーク、特にインターネットに接続している状態を表します。例えば、「オンラインで買い物をする」は shop online、「オンライン会議」は an online meeting と表現します。選択肢①「一列に」は in a line、③「時間通りに」は on time、④「独力で」は on one's own です。

◆補足：online は、on と line（線）が組み合わさった言葉で、元々は電話回線やネットワーク回線に「乗っている」状態を指していました。対義語は offline（オフラインで）です。現代のデジタル社会において必須の語彙となっています。

41.

解答 ④

【解説】

「～がどのようなものか描写する」という意味に最も近い英単語は④の describe です。人や物事の外見や性質、出来事の様子などを言葉で詳しく説明することを指します。例えば、「その事件がどう起こったかを描写する」のように使います。他の選択肢について、① subscribe は「(雑誌などを) 定期購読する」、② deserve は「～に値する」、③ design は「～を設計する」という意味です。

◆補足：describe の語源は、ラテン語の de-（下に）+ scribere（書く）で、「書き留める」というのが核となるイメージです。名詞形は description（描写、説明）です。

42.

解答 ①

【解説】

「～を刺激する」という意味に最も近い英単語は①の stimulate です。何かを促進したり、より活発にさせたりすることを指します。例えば、「経済を刺激する」は stimulate the economy、「好奇心を刺激する」は stimulate curiosity と表現します。他の選択肢について、② hesitate は「ためらう」、③ estimate は「～を見積もる」、④ simulate は「～を模擬実験する、～のふりをする」という意味の動詞です。

◆補足：stimulate の名詞形には stimulation（刺激）と stimulus（刺激物、単数形）があります。stimulus の複数形は stimuli となり、不規則な変化をするので注意が必要です。語源はラテン語の stimulus（突き棒）で、牛を突いて進ませる棒から「駆り立てるもの」→「刺激」という意味に発展しました。

43.

解答 ①

【解説】

「(事業・製品など)を開始する」という意味に最も近い英単語は①の **launch** です。新しい計画や製品を世に送り出す、大々的に始めるといったニュアンスで使われます。例えば、「新製品を発売する」は **launch a new product** と表現します。他の選択肢について、② **lunch** は「昼食」、③ **branch** は「支店、枝」、④ **punch** は「～を殴る」という意味です。

◆補足：**launch** は元々、「(船)を進水させる」「(ロケット)を打ち上げる」という意味で使われます。この「何かを勢いよく送り出す」というイメージが、ビジネスの文脈での「開始する」という意味にも応用されています。名詞としても「開始、発売、進水、打ち上げ」といった意味で使われます。

44.

解答 ④

【解説】

英語表現「**even if**…」は、「たとえ…だとしても」という意味の接続詞です。仮定の条件を導入し、その条件が真実であったとしても、主節の結果は変わらないことを強調します。例えば、「たとえ雨が降っても、私たちは出かけます」は **Even if it rains, we will go out.** と表現します。選択肢①「まるで…のように」は **as if**、②「…の場合に備えて」は **in case**、③「…でさえ」は副詞の **even** が対応します。

◆補足：**even if** と **even though** の違いは重要です。**even if** は「仮定」の話をするのに対し、**even though** は「事実」に基づいた逆接を表します。「たとえ（本当は疲れていないかもしれないが）疲れていても行く」のが **even if**、「(実際に疲れているという事実にもかかわらず) 疲れているけれども行く」のが **even though** です。

45.

解答 ④

【解説】

「中古の」という意味に最も近い英単語は④の **secondhand** です。新品ではなく、以前に他の誰かが所有していたことを示す形容詞です。例えば、「中古車」は **a secondhand car** と表現します。他の選択肢について、① **brand-new** は「新品の」で対義語です。② **handmade** は「手作りの」、③ **on the other hand** は「他方では」という意味の副詞句です。

◆補足：**secondhand** は、文字通り「二人目の手」に渡ったもの、というイメージから来ています。類義語に **used** があり、こちらも「中古の」という意味で広く使われます。副詞としても使え、「間接的に、また聞きで」という意味を表します（例：**hear a story secondhand**）。

46.

解答 ③**【解説】**

英単語「inconvenience」は、「不便、迷惑」という意味の名詞です。深刻ではないものの、手間や困難を引き起こして悩ませる状態や事柄を指します。例えば、「ご不便をおかけして申し訳ありません」は We apologize for the inconvenience. と表現します。選択肢①「不一致」は inconsistency、②「影響」は influence、④「無関心」は indifference です。

◆補足：inconvenience は、否定の接頭辞 in- と、名詞 convenience（便利）が組み合わさった言葉です。動詞としても「～に不便をかける」という意味で使われます。

47.

解答 ④**【解説】**

英単語「reasonably」は、「かなり、まあまあ」または「手頃に、道理にかなって」という意味の副詞です。程度が「かなり良い」ことを示したり、価格が「手頃である」ことや、行動が「理にかなっている」ことを表します。例えば、「かなり安い」は reasonably cheap と表現します。選択肢①「最近」は recently、②「繰り返し」は repeatedly、③「無作為に」は randomly です。

◆補足：reasonably は、形容詞 reasonable（道理的な、手頃な）の副詞形です。very ほど強くはないが、fairly（まあまあ）よりは肯定的、といったニュアンスで使われることが多いです。

48.

解答 ③**【解説】**

英単語「run」は多義語ですが、「走る」以外で非常に重要な意味の一つが「～を経営する、運営する」です。会社、店、組織などを管理し、責任者として動かすことを指します。例えば、「レストランを経営する」は run a restaurant と表現します。選択肢①「～に会う」は run into ～、②「～を使い果たす」は run out of ～、④「不足する」は run short of ～ という句動詞です。

◆補足：「経営する」という意味の run は、manage よりも口語的で、日常的によく使われます。機械などが「作動する」という意味もあり、The engine is running.（エンジンがかかっている）のように自動詞としても使われます。

49.

解答 ①**【解説】**

「～を証明する」という意味に最も近い英単語は①の **prove** です。証拠や事実を挙げて、何かが真実であることを示す行為を指します。例えば、「彼の無実を証明する」は **prove his innocence** と表現します。他の選択肢について、② **provide** は「～を供給する」、③ **propose** は「～を提案する」、④ **prohibit** は「～を禁止する」という意味の動詞です。

◆**補足**：prove は、「～だと判明する」という意味の自動詞としても使われます（例: The rumor proved to be false. その噂は嘘だと判明した）。名詞形は **proof**（証拠）、形容詞形は **proven**（証明された）です。

50.

解答 ①

【解説】

英単語「warmth」は、「暖かさ、温情」という意味の名詞です。物理的な温度の暖かさだけでなく、人の親切さや心の温かさを表すのにも使われます。例えば、「暖炉の暖かさ」は **the warmth of the fireplace**、「彼の声の温かさ」は **the warmth in his voice** と表現します。選択肢②「警告」は **warning**、③「富」は **wealth**、④「価値」は **worth** や **value** です。

◆**補足**：warmth は、形容詞 **warm**（暖かい）に、抽象名詞を作る接尾辞 **-th** が付いた形です。同じ成り立ちの単語には、**long** → **length**（長さ）、**wide** → **width**（幅）、**deep** → **depth**（深さ）などがあります。このように単語の成り立ちを理解すると、語彙を効率的に増やすことができます。
